

第4章 経営の基本方針

当市では、長期的な視野に立ち、今後の下水道のあり方に関する基本的な方針を示し、着実に下水道の役割を果たすことを目的として、2012（平成 24）年に「町田市下水道ビジョン」を策定しました。

「町田市下水道ビジョン」では、基本理念に「次世代につなげる良好な水環境を目指して」を掲げ、3つの基本方針「環境に配慮した施設整備を行い、より良い環境づくりを進めます」、「災害に強いまちづくりを進め、安心な暮らしを築きます」、「効率的で健全な経営を図り、より良い下水道サービスに取り組みます」を定めています。

当市下水道事業の基本理念の達成を目指す一方で、人口減少や少子高齢化の進行、大規模災害の発生、下水道施設の老朽化、下水道使用料収入の減少など、下水道事業を取り巻く経営環境は大変厳しくなることが予想されます。

そこで、「効率的で健全な経営を図り、より良い下水道サービスを提供する」ことを経営の基本方針とします。

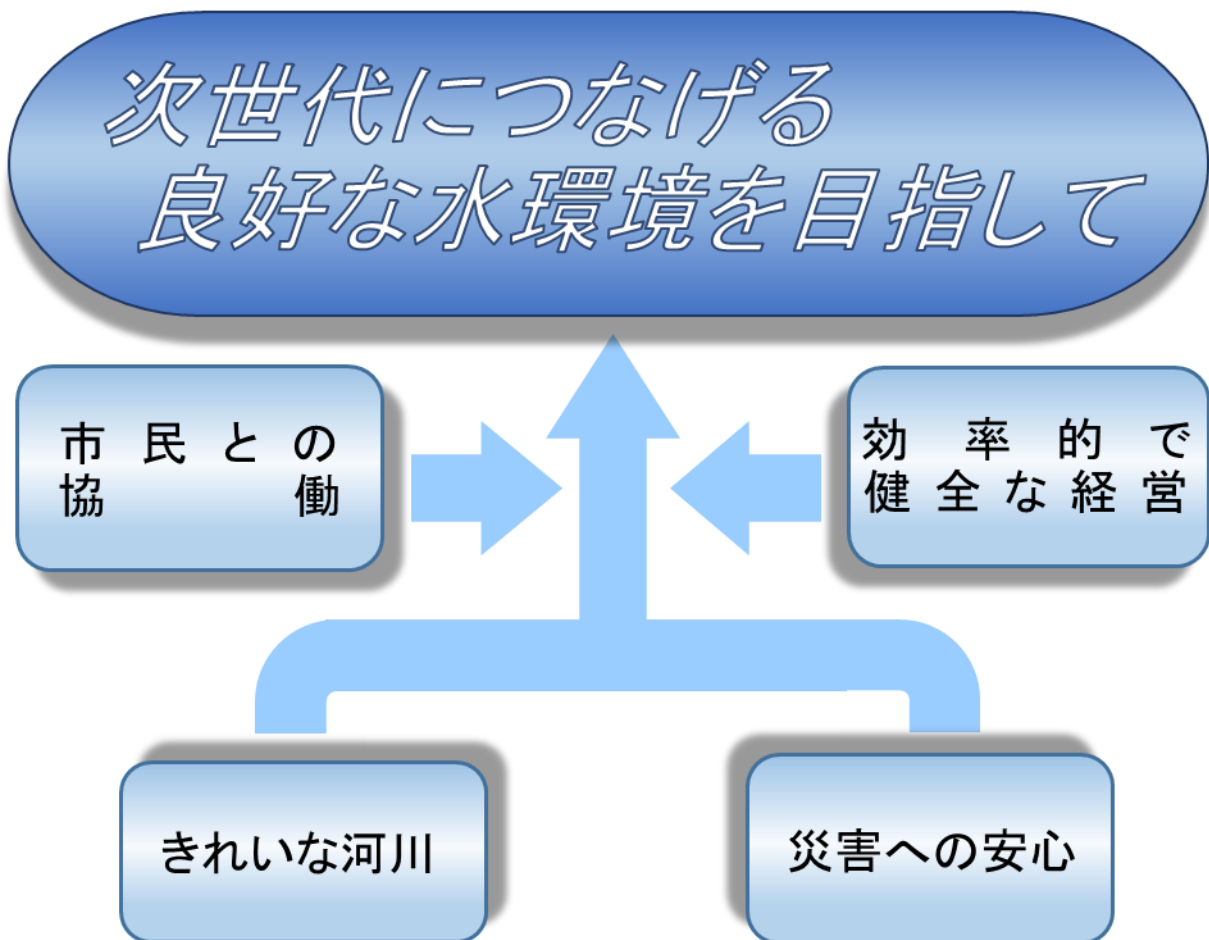


図 4-1 下水道部の基本理念「町田市下水道ビジョン」（2012（平成 24）年 3 月策定）より一部抜粋



次世代に



環境に配慮した施設整備を行い、
より良い環境づくりを進めます



災害に強いまちづくりを進め、
安心な暮らしを築きます



効率的で健全な経営を図り、
より良い下水道サービスに取り組みます

図 4-2 下水道部の基本方針「町田市下水道ビジョン」(2012(平成24)年3月策定)より一部抜粋



環境に配慮した施設整備を行い、**より良い環境づくりを進めます**

環境意識の高まりにより、環境への負荷の少ない循環型社会の構築が求められています。下水道事業でも、河川等公共用水域の水質向上や地球温暖化対策としての温室効果ガス*の削減、資源の有効利用等の環境配慮が求められています。

これらのことから、環境に配慮した施設整備を行い、より良い環境づくりを進めます。



災害に強いまちづくりを進め、**安心な暮らしを築きます**

ゲリラ豪雨や大規模地震及び老朽化した下水道施設による事故の発生は、生活や都市機能に大きな影響を及ぼします。

そのため、豪雨による浸水や地震による被災への備えと対策を強化し、災害に強いまちづくりを進め、安心な暮らしを築きます。



効率的で健全な経営を図り、**より良い下水道サービスに取り組みます**

これまで進めてきた住環境の改善を目的とする下水道の普及に加え、今後は、下水処理場の機能高度化、浸水対策、施設の維持管理、老朽化した施設の改善更新等に要する経費の増加が予測されます。

限られた財源のもと多くの課題に対応するためには、より効率的な事業展開が必要です。これらを踏まえ、効率的で健全な経営を図り、継続的に下水道事業を推進し、市民の生活を支える下水道のサービス向上に取り組みます。

